

ciné-là 11

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAPは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAPの会員です。

November.2010 vol.167

鉄腕投手 福尾物語

福岡市博物館「ふくおかの歴史とくらし」
展示企画に協賛して、
福岡を舞台にした映画を特集。

通常上映

福岡市博物館「ふくおかの歴史とくらし」展協賛

映画に見る福岡

自主上映作品の日本最大のコンペティション、
ぴあフィルムフェスティバルの入選作を上映。

特別企画

ぴあフィルムフェスティバルin福岡

通常上映

福岡市文学館 企画展「檀と眞鍋」開催記念

「火宅の人」上映と講演会



火宅の人

特別企画

自主上映作品の日本最大のコンペティション、ぴあフィルムフェスティバルの入選作を上映。

ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

主催:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 PFFパートナーズ ユニジャパン

会期:11月4日(木)~11月7日(日)

観覧料:1,000円(当日1回券)/800円(前売り1回券)

2,700円(当日3回券)/2,100円(前売り3回券)

※前売り券はチケットぴあ(Pコード462-264)にて10月2日から発売。

※定員制、各回入替制。

※開場は開演の15分前。

※障がい者、高齢者の方の割引はありません。

4(木)15:15

死なない子供、荒川修作

2010年/ビデオ/カラー/80分/監督:山岡信高

芸術家・荒川修作が2005年三鷹市に建てた「三鷹天命反転住宅」は、人の潜在能力を引き出し、人間は死なくなるという。この住宅に住む人と荒川修作についてのドキュメンタリー。

4(木)17:00

家族X

2010年/35ミリ/カラー/90分
第20回PFFスカラップ作品

監督:吉田光希

出演:南果歩 田口トモロヲ



東京郊外の住宅地。橋本家は3人家族。息子は職に就くことができず、アルバイトに出かけてはいつの間にか帰ってくる。無言のまま仕事に行く夫。妻の路子は、すれ違ひの家族の中で虚無をつのらせる。奇妙ではあるが、ありふれているかもしれない家族の日常を静かに描いた作品。

4(木)19:00

21世紀

2009年/ビデオ/カラー/60分
監督:山内崇寛

個人映画を撮っているカナンは、幽霊を映画におさめる。ところがそれは彼女にしか見えず、次々と周りの人人が死んでいく。虚無的な優しさを持った作品。

真っ赤な嘘

2009年/ビデオ/カラー/72分/監督:小林岳



上京し寿司屋でバイトを始めた山田くんは、人並みはずれて不器用だった。独善的で偏屈な主人公の暴走は、見る者の心を揺さぶる。PFFアワード映画ファン賞。

5(金)14:00

平林勇作品集

全8作品 約120分

短編映画で国際的に活躍する平林勇監督の作品集。

上映作品「PENIS」「TEXTISM」「HELMUT」「ドロン」「17個の空間と1匹のウジ虫で構成された作品」「BABIN」「aramaki」「Shikashu」



5(金)16:30

硬い恋人

2009年/ビデオ/カラー/52分/監督:森岡龍

カフルとオギは恋人同士ではないが、一緒に部屋でグダグダと過ごしている。独特のリズムで綴る新感覚の青春映画。

反抗

2009年/ビデオ/カラー/52分
監督:堀内博志

不条理な極限状態に追い込まれた少女マイの自我への自覚めと、しがらみへの逆襲を描いた物語。

5(金)19:00

アンナと二階の部屋

2009年/ビデオ/カラー/15分

監督:田崎恵美

朝が苦手なため遅刻でアルバイトはすぐにクビになれる、お気楽な女性の日常を、見事な構成で描いた作品。人間描写が素晴らしい。PFFアワード企画賞。エンターテイメント賞。



賽ヲナゲロ

2009年/ビデオ/カラー/66分
監督:天野千尋

工場で働きはじめた内気なミチコは、小学校時代に好きだった男性と再会し心が揺れる。サスペンスの雰囲気を持つ、ミチコの成長物語。

6(土)12:45

山村浩二・短編アニメーションの世界

全8作品 約70分

日本を代表するアニメーション作家山村浩二の短編アニメーションを特集。監督自らのセレクションによる20年間の軌跡。

上映作品「水棲」「ひゃっかくずかん」「バベルの本」「頭山」「年をとった



鶴」「Fig」「こどもの形而上学」「カフカ 田舎医者」

6(土)14:30

ワンピース 2010夏コレクション

全10作品 約60分

「ウォーターボーイズ」などで知られる矢口史靖監督と「ゲゲゲの女房」の鈴木卓爾監督が94年から続けている固定カメラ、ワンシーン、ワンカットの短編映画がワンピース。この夏に作られた新作と、過去の作品を上映。上映作品「失われた古代文明」「豚に真珠ハイパー」「いま、迎えにいきます」「悩ましき窓」「春のバカ」「泥棒」「小説家」「失恋沼」「多摩川サイコキラー」「種をまいたのはばあば？」

6(土)16:00

くらげくん

2009年/ビデオ/カラー/14分

監督:片岡翔

女の子っぽい雰囲気のくらげくんと、ガキ大将タイプの虎太郎。引っ越しでお別れすることになった二人の子供はローカル線に乗って旅をする。新しい子供映画。



PFFアワード準グランプリ。

青春墓場～明日と一緒に歩くのだ～

2009年/ビデオ/カラー/75分/監督:奥田庸介

かつて恋人だった二人が再会するが、女は風俗嬢になり、男はつまらない仕事の日々。甘酸っぱい記憶が蘇るが、現実は甘くない。ゆうばりファンタスティック映画祭グランプリ受賞作。

映画上映 13:00～

火宅の人

1986年/35ミリ/カラー

132分/東映

監督:深作欣二

出演:緒形拳 松坂慶子

6(土)18:00

キミハミング/コーヒー

2009年/ビデオ/カラー/18分/監督:勝又悠



田舎町の高校生のカップル。彼女は二人の長い親友状態を終わらせたいのだが、彼はなかなか踏み込めない。何気ない描写の積み重ねにより描かれる切ない物語。

白昼のイカロス

2009年/ビデオ/カラー/83分
監督:阿部綾織 高橋那月

上京したハルヲは雀荘で働く。彼はそこで自分と同じような虚無感を抱えた人々に出会う。魅力的な登場人物が織りなす物語。PFFアワード審査員特別賞。

7(日)12:00

ポスト・ガール

2009年/ビデオ/カラー/49分

監督:北川仁



自殺した弟のために復讐をしようとする姉は、弟が想いを寄せた女性と彼女の交際相手の関係をこじらせようとする。復讐の連鎖がブラックなユーモアで描かれる。

TIGER

2010年/ビデオ/カラー/57分
監督:ジェームズ・マクフェイ

モデルのジャックとレナーは、東京に滞在する間だけ恋人のような関係を結ぶ。繊細な登場人物の暮らす東京は日本ではないようにみえる。PFFアワード審査員特別賞。

7(日)14:30

イチゴジャム

2008~9年/ビデオ/カラー/32分

監督:庭月野誠啓



大学生の枝里子は手作りのイチゴジャムを貧乏暮らしの遠藤君に作ってあげる。古典的な少女漫画を思わせる物語。

世界グッドモーニング!!

2009年/ビデオ/カラー/81分
監督:廣原暁

母親と二人暮らしの冴えない高校一年生のユウタ。興味本位でカバンを盗んだ男が翌日死亡し、ユウタは男の家族を探し始める。PFFアワード審査員特別賞。

7(日)17:00

あんたの家

2009年/ビデオ/カラー/44分
監督:山川公平

病気の年老いた夫と古いアパートで暮らすキミコは、朦朧とした意識の中で夫の首に手をかけてしまう。暗い題材ながらキミコの力強く生きる姿に共感する。PFFアワードグランプリ。

雲と空

2009年/ビデオ/カラー/50分
監督:Yoshino

親の離婚で母親と二人暮らしをすることになった高校生。死んだ妹への想いを断ち切れない同級生。二人の男子高校生の不思議な交流と心の解放を描く物語。

通常上映

福岡市文学館企画展「檀と眞鍋」開催記念

「火宅の人」上映と講演会

会期:11月27日(土)

観覧料:500円(大人)/400円(大学生・高校生)/300円(中学生・小学生)

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がいの方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は250円。(会員証の呈示が必要です。)

※講演会は無料です。講演のみご希望の方は映画上映終了後に入場できますが、

定員246名を超えた場合は入場できません。

※残席がある場合は、当日14時から入場整理券を配布します。

映画上映 13:00～

火宅の人



1986年/35ミリ/カラー

132分/東映

監督:深作欣二

出演:緒形拳 松坂慶子

作家の桂一雄は妻に死なれ。ヨリ子と再婚する。ヨリ子は5人の子供を育てるのだが、次郎が日本脳炎になって以来、宗教にすがるようになる。また一雄は新劇俳優の恵子と深い仲になってしまう。自由奔放な作家を描く、檀一雄の同名小説の映画化作品。自伝的な要素が多く含まれている。

講演会 15:30～16:30

「父を囲む豊かな人々」



講師:檀太郎
(エッセイスト)

1943年東京生まれ。作家檀一雄の長男。CFプロデューサーとして数々の作品を制作するかたわら、旅、食に関するエッセイを執筆。2009年能古島に移住。主な著書に『新・檀流クッキング』『好・食一代男』『作家が旅したあの町この町』などがある。

通常上映

福岡市博物館「ふくおかの歴史とくらし」展示企画に協賛して、
福岡を舞台にした映画を特集。

福岡市博物館「ふくおかの歴史とくらし」展協賛

映画に見る福岡



高校大パニック

会期:11月10日(水)~11月26日(金) ※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)/400円(大学生・高校生)/300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がいの方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の呈示が必要です。)

10(水)
14:00 | 20(土)
11:00

水の中の八月

高飛び込みのオリンピック選手候補の葉月泉は、先輩の桑島真魚と出会い惹かれ合う。その時福岡市は猛烈な暑さで「石化病」という奇病が流行していた。不思議な運命を背負った少女と、彼女を見守る青年の一夏の出来事を描いたファンタジー映画。福岡市出身の石井聰亘監督が、ほとんどを福岡口で完成させた作品。



1995年/35ミリ/カラー/118分
「水の中の八月」製作委員会
監督:石井聰亘
出演:小嶺麗奈 青木信輔

11(木)
11:00 | 21(日)
11:00

黒田騒動

黒田藩二代目藩主忠之は、成り上がりの家老倉橋十太夫を重用し、軍備を増強、さらに京禁を犯す軍船の建造に着手する。先代からの古参の家老である栗山大膳の進言を無視する忠之を、大膳は幕府に訴える。江戸三大お家騒動に数えられ、歌舞伎などでもとりあげられた黒田騒動の映画化作品。巨匠・内田吐夢監督による重厚な時代劇。



1956年/35ミリ/モノクロ
108分/東映
監督:内田吐夢
出演:片岡千恵蔵 大友柳太朗

11(木)
14:00 | 23(火・祝)
14:00

鉄腕投手 稲尾物語

1958年のプロ野球日本シリーズで、西鉄ライオンズは巨人と対戦し3連敗の後4連勝する。優勝の立役者となった稻尾和久投手は、「神様、仏様、稻尾様」と言われる程の人気となる。本作は稻尾の子供時代から日本シリーズまでを描いた作品で、稻尾和久本人だけでなく、ライオンズの選手が多数出演するもの見所である。



1959年/35ミリ/モノクロ
105分/東宝
監督:本多猪四郎
出演:稻尾和久 志村喬

12(金)
11:00 | 25(木)
14:00

続社長太平記

婦人下着メーカーの錨商事は、福岡市に支店を開店する。社長以下幹部が福岡にやって来て宴会を開く。社長の大森は料亭で酔っ払って締め上げるが、それは地元の有力者であり、錨商事は開店早々苦境に陥ることになる。森繁久彌主演で50年代から60年代にかけて人気を博したコメディ映画、「社長シリーズ」の1本。



1959年/35ミリ/カラー
104分/東宝
監督:青柳信雄
出演:森繁久彌 小林桂樹

12(金)
14:00 | 25(木)
11:00

にっぽん三銃士 博多帯しめ一本どっこい巻

東京から博多にやって来た、黒田、八木、風見の三人組は、ビール作りを行う女親分のお新に拾われる。お新は古い街を漬して工場を建てようとする建設会社と対決、3人は彼女に協力することになる。五木寛之の原作小説の映画化。経済成長から落ちこぼれた人々や世代の挫折感などが、コメディタッチで描かれている。



1973年/35ミリ/カラー
91分/東京映画=東宝
監督:岡本嘉八
出演:小林桂樹 ミッキー安川

13(土)
11:00 | 17(水)
14:00 | 26(金)
14:00

小梅姐さん

赤坂小梅は「小梅姐さん」と慕われた国民的歌手。福岡県の川崎町に生まれた彼女は芸者となり、1981年に引退するまで、数多くの民謡や歌謡曲を歌った。特に「黒田節」「おてもやん」「炭坑節」などの民謡を日本を代表する歌にした功績は大きい。本作は、赤坂小梅生誕100年を記念して、彼女の生涯とその功績を記録したドキュメンタリーである。



2007年/ピアノ/カラー/76分
赤坂小梅生誕100年製作上映委員会
監督:山本眸古

13(土)
14:00 | 24(水)
14:00

高校大パニック

福岡・中州高校の三年生・田中が飛び降り自殺する。何事もなかったように授業を行う担任の数学教師・伊原に怒った同級生の城野は、学校を飛び出し、ライフルを手に高校に戻ってくる。石井聰亘が大学時代に作った8ミリ映画を元にした作品。ヒロインの浅野温子の存在感が光る。



1978年/35ミリ/カラー
94分/にかつ
監督:澤田幸弘 石井聰亘
出演:山本茂 浅野温子

13(土)
17:00 | 24(水)
11:00

博多どんたく

博多の商人、博多八丁兵衛は男気に溢れる人物で町人たちに慕われていた。黒田藩の勘定奉行は、城内の改修工事の費用を補う名目で不当な上納金を博多商人に課そうとしていた。八丁兵衛はこれに抵抗しようとする。博多八丁兵衛は実在の豪商で、彼をモデルに福岡出身の脚本家・八尋不二が創作した物語。



1948年/16ミリ/モノクロ
78分/大映
監督:丸根賛太郎
出演:阪東妻三郎 入江たか子

14(日)
11:00 | 19(金)
14:00

ちんちろまい

福岡観光振興協会の貞原は、コンピューター会社社長ワン氏の率いる撮影隊のコードネイムで大忙し。ところが長女がアメリカの大道芸人と恋に落ちると思えば、次女は上京して音楽をやりたいというなど、プライベートでも問題山積となってしまう。福岡を舞台にした騒動をミュージカル仕立てで描いたコメディ映画。出演者も福岡県出身者ばかりという異色の作品。



2000年/35ミリ
カラーミー/107分
博多ムービー製作委員会
監督:大森一樹・他
出演:武田鉄矢 牧瀬里穂

14(日)
14:00 | 20(土)
14:00

ロッカーズ

ロッカーズというバンドのボーカル・ジンは親にバンド活動を反対され、家を飛び出してしまう。昔からのメンバー4人のグループに限界を感じたジンは、ギターに新メンバーのタニを加え、プロへの道を歩き始める。俳優として活躍する陣内孝則の自らの体験を基にした青春ドラマ。陣内孝則初監督映画。



2003年/35ミリ/カラー/105分
「ROCKERS」製作委員会
監督:陣内孝則
出演:中村俊介 玉木宏

18(木)
11:00 | 20(土)
17:00

山口組外伝 九州進攻作戦

昭和32年。ヤクザの夜桜銀次は敵対する組幹部を殺害し大阪に身を隠す。やがて銀次は山口組の九州制覇の野望の中で、博多の兵藤組のもとに身を寄せる。昭和36年、博多には一触即発の空気が流れていた。最後の侠客、最も有名な鉄砲玉といわれた実在のヤクザ、夜桜銀次の生涯を描いた作品。



1974年/35ミリ/カラー
106分/東映
監督:山下耕作
出演:菅原文太 渡瀬恒彦

18(木)
14:00 | 21(日)
14:00

空の大怪獣 ラドン

九州の炭鉱地帯。水爆実験による地殻変動で、地下に眠っていた巨大な生物が眼をさます。福岡の自衛隊は超音速で飛ぶ怪鳥と遭遇、ラドンと命名される。ラドンは阿蘇山付近に生息し福岡市などの街を破壊していく。「ラドン」は初のカラー怪獣映画であり、綿密な設定や緊迫したドラマなど、「ゴジラ」と並ぶ怪獣映画の傑作である。



1956年/35ミリ/カラー
82分/東宝
監督:本多猪四郎
出演:佐原健二 平田昭彦

19(金)
11:00 | 23(火・祝)
11:00

よかとこ福岡

「よかとこ福岡」は福岡県と福岡県観光連盟が企画して制作されたPR映画。福岡の祭りや様々な文化をフランキー堺が紹介する。「鬼すべ」は太宰府天満宮の氏子によって行われている祭りを記録したドキュメンタリー映画。迫力ある映像により、芸術祭大賞、キネマ旬報文化映画第一位などに選ばれた傑作。



1971年/16ミリ/カラー/33分
RKB映画社/監督:世良周三

鬼すべ

11月

上映スケジュール

1・月	休館日
2・火	休館日
3・水祝	休映日
4・木	15:15 死ない子供、荒川修作 17:00 家族X 19:00 21世紀 真っ赤な嘘
5・金	14:00 平林勇作品集 16:30 硬い恋人 19:00 アンナと二階の部屋 反抗 賽ヲナゲロ
6・土	12:45 山村浩二 14:30 ワンピース 16:00 くらげくん 18:00 ミハミシングロービー 魔界アニメーションの世界 2010夏コレクション 青春墓場 白昼のイカロス
7・日	12:00 ポストガール 14:30 イチゴジャム 17:00 あんたの家 TIGER 世界グッドモーニング!! 雲と空
8・月	休館日
9・火	休映日
10・水	14:00 水の中の八月
11・木	11:00 黒田騒動 14:00 鉄腕投手 稲尾物語
12・金	11:00 続社長太平記 14:00 にっぽん三銃士
13・土	11:00 小梅姐さん 14:00 高校大バニック 17:00 博多どんたく
14・日	11:00 ちんちろまい 14:00 ロッカーズ
15・月	休館日
16・火	休映日
17・水	14:00 小梅姐さん
18・木	11:00 山口組外伝 14:00 空の大怪獣 ラドン
19・金	11:00 よかとこ福岡 他 14:00 ちんちろまい
20・土	11:00 水の中の八月 14:00 ロッカーズ 17:00 山口組外伝
21・日	11:00 黒田騒動 14:00 空の大怪獣 ラドン
22・月	休館日
23・火祝	11:00 よかとこ福岡 他 14:00 鉄腕投手 稲尾物語
24・水	11:00 博多どんたく 14:00 高校大バニック
25・木	11:00 にっぽん三銃士 14:00 続社長太平記
26・金	14:00 小梅姐さん
27・土	福岡市文学館企画展「壇と眞鍋」開催記念 「火宅の人」上映と講演会
28・日	自主上映／福岡映画サークル協議会第7回例会
29・月	休館日
30・火	休館日

◆◆◆ 第124回福岡日伊協会映画会 ◆◆◆

『殺人カメラ』(1948年制作/83分)

監督:ロベルト・ロッセリーニ/出演:ジェンナーロ・ビサーロ、マリリン・バファード他
 日 時:2010年11月29日(月) 19:00~21:00 ※入場無料・先着120名
 会 場:あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL.092-263-1100
 主 催:福岡日伊協会 TEL.092-476-2153(西日本シティ銀行内)
 協 力:財団法人福岡文化財団

福岡市文学館企画展「壇と眞鍋」

福岡ゆかりの作家壇一雄と福岡出身の作家・俳人眞鍋呂夫。二人の交流は壇の死まで30年以上に及ぶ。本展では壇と眞鍋の交流を軸に壇と福岡の関わり、ならびに眞鍋の作家人生を紹介する。

会 期:11月3日(水・祝)~12月12日(日)
 会 場:第1会場 福岡市総合図書館1Fギャラリー
 第2会場 福岡市文学館(赤煉瓦文化館)
 入 場 料:無料
 お問い合わせ先:福岡市総合図書館文学・文書課 TEL.092-852-0606

福岡市博物館 第23回新収蔵展
「ふくおかの歴史とくらし」

福岡市博物館が平成19年度に収集した考古・歴史・美術・民俗の各分野にわたる資料を、初めて一般に公開します。



会 期:11月9日(火)~12月12日(日)
 会 場:福岡市博物館 特別展示室A
 入 場 料:一般200円(150円)/高生150円(100円)
 中学生以下無料

※()は20人以上の団体料金
 来身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び
 シルバー手帳提示者などは無料でご覧いただけます。
 ※本届観覧券で常設展(総合・部門別)もご覧いただけます。

お問い合わせ先:福岡市博物館 TEL.092-845-5011

090自主上映のお知らせ

11月28日(日)

福岡映画サークル協議会第7回例会

上映作品:「まぶしい一日」①11:00~ ②14:20~
 主 催:福岡映画サークル協議会 tel.092-781-2817

※自主上映の詳細については福岡主催者にお尋ね下さい。

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600



映像資料課:tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。
 バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用について
 西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

